

平成 26 年（1 月～12 月末）の労働災害発生状況について

1 労働災害発生状況

(1) 概況

ア 前年同期との比較

	平成 26 年 2 月末	平成 27 年 2 月末	増減（率）
死亡災害（人）	1,010	1,015	5（0.5%）
死傷災害（人）	115,908	117,233	1,325（1.1%）
重大災害（件）	238	291	53（22.3%）

イ 先月末との比較

	平成 27 年 1 月末	平成 27 年 2 月末	対前年増減率の推移
死亡災害（人）	1,004	1,015	1.7% → 0.5%
死傷災害（人）	113,972	117,233	1.0% → 1.1%
重大災害（件）	265	291	40.2% → 22.3%

ウ 近年の同月との比較（2 月（1 ヶ月間に登録されたもの）の労働災害件数の経年推移）

	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
死亡災害（人）	12	23	11
死傷災害（人）	3,074	3,068	3,261
重大災害（件）	7	49	26

（注：平成 27 年 3 月 7 日までに入力した速報値である。）

（出典：死亡災害報告、労働者死傷病報告、重大災害報告）

(2) 死亡災害

ア 業種別発生状況

建設業（364 人）、第三次産業（252 人）、製造業（174 人）、陸上貨物運送事業（125 人）の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「墜落・転落」(259人)、「交通事故(道路)」(226人)、「はさまれ・巻き込まれ」(147人)の順で多く発生している。

ウ その他

全産業の死亡災害の前年同期の増加率は先月に比べて1.7%から0.5%に縮小している。業種別の先月末からの前年同期の増減率で比較すると、製造業では▲9.9%から▲12.6%に減少幅が拡大している。また、建設業では9.3%から8.3%に増加幅が縮小しており、陸上貨物運送事業では25.8%から22.5%に増加幅が縮小している。

(3) 死傷災害(休業4日以上)

ア 業種別発生状況

第三次産業(51,126人)、製造業(27,015人)、建設業(16,934人)、陸上貨物運送事業(13,986人)の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「転倒」(26,452人)、「墜落・転落」(20,227人)、「はさまれ・巻き込まれ」(15,022人)の順で多く発生している。

ウ その他

全産業の死傷災害の前年同期の増加率は先月に比べて1.0%から1.1%に拡大している。業種別の先月末からの前年同期の増減率で比較すると、第三次産業では1.5%から1.7%に、製造業では1.5%から1.6%に増加幅が拡大し、建設業では▲0.1%と変わらず、陸上貨物運送事業では0.1%から0.3%に増加幅が拡大している。

(4) 重大災害(一時に3人以上の死傷者を伴う災害)

ア 業種別発生状況

建設業(130件)、第三次産業を中心としたその他の事業(82件)、製造業(60件)の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「交通事故」(143件)、「中毒・薬傷」(50件)、「その他」(47件)の順で多く発生している。

ウ その他

重大災害の発生件数は、全産業において291件で、前年同期に比べて53件、22.3%増加し、先月の40.2%増加に対して増加幅が縮小している。建設業において130件で、前年同期に比べて37件、39.8%増加し、先月の52.6%増加に対して増加幅が縮小している。製造業において60件で、前年同期に比べて24件、66.7%増加し、先月の76.7%の増加に対して増加幅が縮小している。